

1. 研究会の目的

ヒートポンプのフルオロカーボン系作動媒体は地球温暖化ガスの一つに数えられるなど、地球環境という大きな問題と切り離せない喫緊の課題であり、これを解決する一手段として炭化水素、二酸化炭素、アンモニア、水、空気などの自然冷媒や、近年注目されている低GWP冷媒は、ますます重要なテーマとなっています。また、2050年カーボンニュートラル（以後、「CN2050」と記載。）の実現に向けて、ヒートポンプの重要性が叫ばれています。

本研究会は、自然冷媒および低GWP冷媒ならびにそれらを利用したシステムやCN2050の実現に貢献するヒートポンプの活用に関する情報の収集、分析、評価、将来の技術予測などを行い、もって会員相互の啓発と技術レベルの向上を図ることを目的とします。

2. 組織および運営

本研究会は、当センターの賛助会員を中心として組織し（登録制）、当センターを事務局とします。また、主査1名、委員数名をおいて自主的に企画運営を行います。

3. これまでの活動状況

本研究会は、1999年度に自然作動媒体ヒートポンプ研究会として発足し、多数の会員のご参加をいただいて、活発な活動を行ってきました。過去3回にわたり自然冷媒の最新動向に関する国際セミナーを開催しています。2025年度は、阿部化学工業株式会社の再生冷媒工場にて高圧、低圧フロン蒸留設備等の見学会を実施したほか、学識経験者や企業有識者を講師に招き、講演会を開催しました。

4. 2026年度の活動内容

自然冷媒および低GWP冷媒ならびにそれらを利用したシステムやCN2050の実現に貢献するヒートポンプシステムに関する講演会や施設見学会などを年間3～4回程度実施し、会員相互の啓発と技術レベルの向上を図ります。

5. 主査 飛原英治

東京大学 名誉教授

6. 活動期間 2026年4月1日～2027年3月31日（毎年募集）

7. 入会資格

当財団の賛助会員。もしくは、当財団の活動に賛同いただける日本法人。

8. 会費

年会費は1年間の一括払いとし、申込書をいただいた後に請求書を送付します。

ヒートポンプ・蓄熱センター 賛助会員法人：99,000円/社・年（消費税10%込）

〃 非賛助会員法人：132,000円/社・年（消費税10%込）

9. 参加申込方法

別紙（参加申込書）に記入のうえ、郵送またはE-mail、FAXにて事務局宛にご連絡下さい。申し込みは随時受け付けておりますが、期の中途でご入会の場合も年会費は上記のとおりとなります。

10. 連絡先

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 次世代冷媒ヒートポンプ研究会事務局

竹原（TEL：03-5643-2404 FAX：03-5641-4501 E-mail：takehara.toshihide@hptcj.or.jp）

以上